



構造をいじらずに本格的茶室に見事に変えている。特筆すべきは、床の間部分の造り。床の間としての最小限の装飾と機能を絞り込み、限られた採光と奥行きを克服して、なお余りある巧みさである。洋館との接続やエアコンの納め方も見事。



BEFORE



①雪見障子越しに中庭を望む



②ロビーより茶室へ



③小屋根を掛けた入口



④床脇と見学者用下地窓



⑤床の間と床脇

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

洋館のゲストルーム内にお茶室を造作したリフォーム計画です。お茶の師範のプライベートなお茶会や茶道教室として、小間風、広間風双方に対応できる4畳半本勝手切のお茶室です。壁や床は壊さず、既存仕上げの上に下地を作り、既存の空調、照明等の設備を最大限に活かしながらの施工を考えました。茶室の独立した精神性を大切にするため、小屋根を掛けた入口を新しく設け、窓側にも屋内濡れ縁を作り、客室内に茶室が忍び込んだイメージで設計しました。

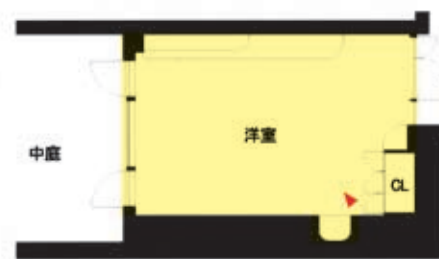
特に配慮した住宅性能：

データ

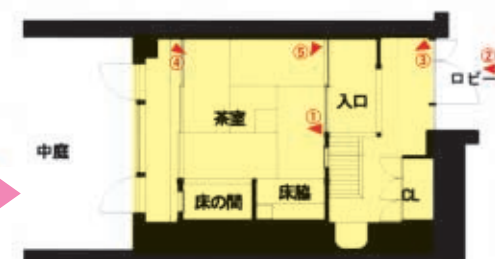
所在地	東京都港区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造/18年		
該当工事面積	25 m ² /総工事床面積	25 m ²	該当部分工事費	310 万円/総工事費	310 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ペット：				
設計者	カガミ建築計画	担当者	各務 謙司・穂坂 和宏		
施工者	小宮工務店	担当者	伊藤 久		

リフォーム前

リフォーム後



既存 平面図



改装後 平面図

